

にもん森林だより



国有林の活動情報を発信していきます。

網走西部森林管理署西紋別支署では、国有林の活動や民有林連携に関する情報発信を今までよりも一層積極的に行うことを目指し、「にもん森林（もり）だより」を発行することとしました。

国有林では地域課題の解決に向けた取り組みを各地で行ってありますが、なかなかその活動が、地域の皆さまに見えにくいのではないかと感じているところです。

そこで当支署では、このような情報誌を作成し、北海道森林管理局における取組や、各署で取り組んでいるコンテナ苗・低密度植栽試験地、ドローン活用法、エゾシカ対策など様々な地域に向けた活動情報を発信していきたいと思えます。

地域の林業を活性化していくためにはさまざまな問題点や課題がありますが、

国有林として地域に役立つことを取り組んでいきたいと思っております。地域の皆さまに関心を持っていただける誌面作りに努めますので、こんな情報を載せてほしい等のご意見ご要望がございましたら、ぜひお声掛けください。



「地域とあゆむ国有林」

発行：北海道森林管理局

平成30年3月、北海道森林管理局では「地域とあゆむ国有林 地域活性化への貢献に向けて」を発行しました。この冊子は、国有林が特別会計から一般会計に移行して5年が経過し、その間の取組結果として、北海道森林管理局や森林管理署・支署における各種取組や地域林業の課題解決に向けた造林・生産のコスト低減やエゾシカ対策など民有林と連携した活動内容について、その一部を全22ページにわたって紹介しております。

何かお役に立てればと思いますので、ぜひご一読ください。

地域活性化への貢献に向けて

地域とあゆむ国有林

「地域とあゆむ国有林」の発行に際して
平成29年4月より国有林は一般会計化されました。
この5年間、北海道森林管理局は、職員一同、地域に寄り添い、地域と共に様々な取組を実施しました。
その活動の一部を紹介させていただきます。
平成30年3月

林野庁
北海道
森林管理局



体制を整備し取り組んでいます。

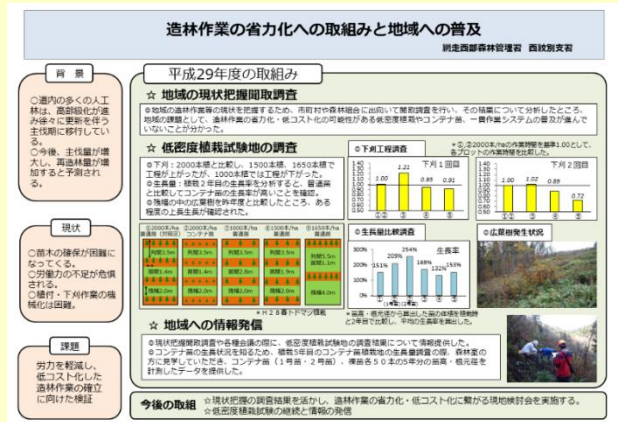
北海道森林管理局では、森林管理署・支署の職員が一つになって民有林支援活動を行うための体制として、各署・支署に「サポートチーム」を設置しています。これは民国連携を担う森林技術指導官等の民有林担当者を中心にして、森林管理署全体で民国連携や民有林への技術支援等を進めることを目的としています。

サポートチームには、地域の現状把握・共有、取り組む課題の話し合い、職員のスキルアップ等に取り組む「全体会議」と、個別の課題ごとに対応し専門的に取り組むための「プロジェクトチーム」が設定されています。

平成28年度から、西紋別支署では「低密度植栽試験地チーム」を設置し、今後の伐採再造林が増加していく現状から、造林作業の省力化を進めるために、植栽密度を低くした施業を検証すること

を目的に、低密度植栽試験地を設置し、下刈工程調査、生長量比較調査、広葉樹発生状況調査等の各種調査や検証をチーム一丸となって取り組んでいます。

平成29年度の取組は下図にて情報発信しています。3年目となる今年度もチーム活動について随時情報発信を行っていきます。



森林管理のICT化に向けて

平成30年2月に北海道大学において北海道森林管理局主催の「北の国・森林づくり技術交流発表会」が開催されました。西紋別支署から職員2名が「森林管理のICT化に向けて」と題して発表を行い、奨励賞を頂きました。

発表内容は、QGISを活用して各種帳簿や図面など森林情報のデータベース化や後任へのスムーズな引継などを行い、森林管理していく上で更なる活用の可能性について考察しています。QGISの詳細は後々誌面で紹介していく予定です。

QGISのメリット

- ★フリーソフトで誰でも使える
- ★表示項目・方法を自由に設定可能
- ★データの共有がしやすい

<編集後記>

第1号を発行しましたこの情報誌は、地域の林業の課題解決に向けて少しでもお役に立てるよう、西紋別支署の取り組みなどについて情報発信していきます。ご意見・ご要望・ご感想などいただけましたら、励みになりますので、お待ちしております。

また、北海道森林管理局のHPにも様々な情報が掲載されていますので、ご覧下さい。
URL <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/index.html> (北海道森林管理局)

